

若狭町では住民が安心して暮らすことができる持続可能なまちづくりと地域活性化を図るため、SDGsを原動力としたまちづくりを推進しています。

SDGsを推進するためには、町が先導役となって、その理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組んでいく必要があります。そこで、若狭町役場では次の取り組みを実践しています。

Action 1 : 職員研修

◎SDGsの基礎知識、民間の活動などを学んでいます。

Action 2 : My SDGs

◎職員一人ひとりが、公務やプライベートを問わずSDGsの目標を設定し、その目標に向かった取り組みを行っています。

◎設定した目標に応じたアイコンを名札に付けています。

Action 3 : SDGs宣言

◎役場各部署では業務目標を定めています。それぞれの業務目標に応じたSDGs目標を設定し、アイコンを各部署のサインに表示しています。

◎各部署カウンターに目標とアイコンの掲示ボードを設置し、来訪者に明示しています。

Action 4 : アイコン展開

◎町が実施する各事業で取り扱う資料等にSDGsアイコンを配置し、それぞれの取り組みがどのSDGs目標に基づいているかを示しています。

ex)通知・依頼文書, 各種資料, イベントチラシなど



Action 5 : 役場SDGs

◎役場も一つの事業所として、共通のSDGs目標を定めて、その解決に向けた取組を行っています。
設定した目標と取組内容は次の通りです。

SDGs目標



【設定理由】

- * 職員My SDGsの上位(取り組みやすさ)
- * 行政運営上の課題 (役場の使命)
- * 世界と町の課題の共通性 (社会貢献)
- * 組織の活力、生産性向上 (健康)

取組内容・方法

① プラスチックごみ削減の推進

①マイボトル運動

職員は、出勤時や外出時にマイボトル (水筒、タンブラー等) を積極的に利用する。

②会議飲物の提供自粛

町主催の会議等において、飲み物の提供を控える。※応接等除く

→会議参加者へマイボトル持参の協力を開催通知等に記載し呼びかける。

② ペーパーレス化の推進

通知等のメール送付

会議の開催等は、電子メールで通知する。

→事前にアドレスを把握し、メールで通知する旨伝達しておく。

③ 健康経営の推進

①庁内の健康づくり活動への参加

庁内で行われる健康づくり活動に積極的に参加し、健康増進を図る。

②内線利用の削減

庁舎内での内線利用を極力控え、対面での会話を優先する。

③健康アプリの活用

ウォーキングアプリ等の健康アプリを導入し健康意識を高める。

副効果

- ・経費削減
- ・作業効率化
- ・コミュニケーション向上